

2023年5月18日

T-DAP(トラックドライバー用アプリ)の全国運用開始について

当社では、2022年1月より全国6駅(函館貨物駅、仙台貨物ターミナル駅、隅田川駅、静岡貨物駅、百済貨物ターミナル駅、北九州貨物ターミナル駅)にてT-DAP(トラックドライバー用アプリ)の試運用を実施してきましたが、2023年6月より全国コンテナ取扱駅での運用を開始いたします。

スマートフォンアプリを活用したDXをさらに推進し、トラックドライバーへの情報伝達の迅速化と物流生産性の向上により「物流の2024年問題」解決の一助とします。

1. 概要

2022年1月より行ってきた試運用の効果を踏まえ、トラックドライバーへの情報伝達の迅速化と貨物駅業務のスマート化として荷役作業のさらなる安全性向上・省力化のため、「駅からのお知らせ」・「コンテナ位置情報」・「列車位置・遅延情報」の3機能を全国コンテナ取扱駅で展開いたします。

2. 運用開始駅

コンテナ取扱駅 79駅※(試運用6駅を含む)

※オフレールステーション・新営業所・臨海線内取扱駅を除く

3. 運用開始日

2023年6月1日(予定)

4. リリース機能と導入効果

(1) 「駅からのお知らせ」

貨物列車遅延等による駅構内作業変更や荷役線入線時刻等を駅から提供することで、情報伝達を迅速化させます。

(2) 「コンテナ位置情報」

駅構内コンテナ所在位置をマップ表示することで、コンテナ位置情報をIT-FRENSよりも詳細に示し、駅構内作業の安全性を向上させます。

(3) 「列車位置・遅延情報」

貨物列車の走行位置や運転状況及び遅延後の到着予定時刻のリアルタイムな情報を提供することで、作業利便性を向上させます。

(4) (参考) 「コンテナ持出持込予約」

駅入構時間を事前に予約することにより、荷役作業省力化とトラックドライバーの駅構内待機時間削減が期待できます。

(なお、この機能は、2022年8月より全国6駅で試運用を開始しています。今後も試運用を継続し、効果検証後に機能の改修等を行い、早期に全国運用を開始する予定です)

以上

別紙

T - DAP (トラックドライバー用アプリ)



ロゴ



アプリ画面イメージ



アプリアイコン